

- 11) 土屋圭造：世界の食糧・日本の農業，農林統計協会（1981）.
- 12) 唯是康彦・他：80年代の食糧，富民協会（1981）.
- 13) 東京天文台編纂：理科年表，丸善（1981）.
- 14) ラテンアメリカの食糧問題と農業開発，農業及園芸 53（1），199（1978）.
- 15) 農政ジャーナリストの会編：21世紀の食糧基地ブラジル，農林統計協会（1977）.
- 16) 小林政明：注目のブラジル大豆作，農業技術 29（12），542（1974）.
- 17) ナイジェリアの国際熱帯研究所にて：農業技術 29（6），268（1974）.
- 18) 津守英安：ECの農業政策：農業及園芸 53（1），211（1978）.
- 19) 辻本佳介：EC農業政策の現状と問題 教育新社（1979）.
- 20) 中山弘正：ソビエト農業事情 NHKブックス（1981）.
- 21) 小川和男・他：ソ連の農業問題と農産物貿易 教育社（1979）.
- 22) 丸毛 忍：ソ連の食糧政策 農業及園芸 53（1）205（1978）.
- 23) シャン・デルヴェール（菊池一雅訳）：東南アジアの地理，白水社（1979）.
- 24) ピエール・ジョルジュ（本岡武・他訳）：世界の農業地理，白水社（1976）.
- 25) 齊藤一夫：ASEANの農業：農業及園芸，53（1）223（1978）.
- 26) 山本秀夫：中国農業の未来，農業及園芸，53（1）217（1978）.
- 27) 長谷山崇彦：タイの農業，国際農林業協会（1979）.
- 28) 農政ジャーナリストの会編：模策する東南アジア農業，農林統計協会（1974）.
- 29) 1981年版地理統計，古今書院（1981）.
- 30) 農業ビジネス 11（497），（1981）.
- 31) Fryer et al.,: Integrated Control of Weeds, 東京大学出版会（1977）.
- 32) 長谷山崇彦：アジアの農業と食糧問題，東洋経済新報社（1978）.
- 33) 宮出秀雄：各国経済のルーツ・世界の農業，富民協会（1978）.
- 34) 農政ジャーナリストの会編：しのびよる世界の食糧不安，農林統計協会（1980）.
- 35) 農林水産技術会議：総合野菜・畑作技術事典 IV. 海外編，農林統計協会（1975）.

昭和56年度水稻作関係

除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

昭和56年度水稻作関係除草剤試験成績中央検討会は，昭和56年12月14日～16日の3日間，植調会館（東京都台東区台東1の26の6）において開催された。ここに，その結果の概要を報告する。

1) 第1次適用性試験(適-1)成績の検討

昭和56年度の適－1試験は、全国7地域で20薬剤(のべ106点)について試験を実施した。その判定結果は、第1表の通りである。なお、本年度から四国地域は徳島県農業試験場で試験が実施された。

2) 第2次適用性試験(適－2)成績の検討

本年度の適－2試験は、125剤(のべ861点)について全国の77試験場所で試験を実施した。その内訳は、稚苗移植栽培用778点、直播栽培用26点、畦畔雑草管理用29点、耕起前雑草防除用12点、休耕田雑草防除用10点、クリーク雑草防除用6点であった。適－2試験の判定結果は第2表、実用化可能と判定された除草剤の使用基準は第3表の通りである。

3) 水田除草剤の使用合理化に関する試験成績の検討

①体系是正に関する試験

本課題は前年度に引続き、8薬剤について全国36場所(うち3薬剤17場所は本年度より開始)で、場内試験と現地試験(農家圃場)とで除草効果および水稲への影響を同時に検討する方法で

実施した。その結果、各薬剤ともきわめて効果が高く、成分未公開の1剤を除いて実用化可能と認められた。その使用基準は、第4表の通りである。

②少量散布に関する試験

本年度は前年度に引き続き、全国14場所(現地試験中心)で11除草体系を供試して、中期剤の減量使用(少量散布)の可能性について、雑草草種・地域性などとの関係を考慮しながら検討した。その結果、許容できる限り早目の処理で体系後処理剤の200～250g/aまでの減量散布が可能であるという結果が得られた。また、その使用基準が新たに作成され、第5表に示した通りである。

4) ハトムギ用除草剤に関する試験成績の検討

ハトムギ栽培における有効除草剤の早急な開発をねらいとして、前年度に引続き、水田および乾田で既に除草効果の確認されている除草剤6剤を供試して、適用性試験を全国8場所で検討した。その結果、実用化可能と判定された除草剤の使用基準は第6表の通りである。

第1表 昭和56年度 水稲作関係除草剤適－1試験成績判定結果一覧表

No.	薬剤名	剤型	有効成分および含有率	試験実施地域	判定結果概要	
1	DC-1507	粒	未公開	北海道、東北、北陸、関東、九州	□ A～C	一年生、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ。〔薬害軽減〕
2	DK-707	粒	ベンチオカーブ 7% DPX-82 0.7%	北海道、東北、北陸、関東、中国、九州。	□ A～C	一年生、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ。〔薬害軽減〕
3	DPX-82	粒	未公開 0.7%	北海道、東北、北陸、関東、中国、四国、九州。	□ A～F	非イネ科一年生、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、(ミズガヤツリ)。〔薬害軽減〕

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および含有率	試験実施地域	判 定 結 果 概 要	
4	H・MT-217	粒	HW-52(未公開) 7% ナプロアニリド 10%	東北、関東、四 国、九州。	☐ A～C	非イネ科一年生、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ。
5	H・MT-317	粒	未 公 開	東北、関東、九 州。	△ B～D	{ 効果向上 }
6	HW-52 SM	粒	HW-52 8% シメトリン 1.5% MCPB 0.8%	北海道、東北、 北陸、関東、四 国、九州。	☐ C～E	一年生。〔薬害軽減－効果向上〕
7	ID-600	粒	未 公 開 10%	北海道、東北、 北陸、関東、九 州。	☐ ④～B	マツバイ、ホタルイ。〔混合母剤〕
8	MT-324	粒	ナプロアニリド 7% ダイムロン 5% 新規化合物 2.5%	北海道、東北、 関東。	☐ A～C	一年生、マツバイ。〔薬害軽減〕
9	MY-15	粒	未 公 開 5%	東北、関東、九 州。	☐ B～D	非イネ科一年生、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ。 〔薬害軽減 混合母剤〕
10	MY-15 A	粒	未 公 開 (2種混合剤)	北海道、東北、 北陸、関東、四 国、九州。	☐ A～C	一年生、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ。〔薬害軽減〕
11	MY-98	粒	未 公 開 10%	北海道、東北、 北陸、関東、四 国、九州。	○～□ ④～B	一年生、ウリカワ、ヘラオモダカ。
12	S-473	粒	未 公 開	北海道、東北、 北陸、関東、中 国、四国、九州。	○ ④～B	一年生、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ。
13	S-474	粒	未 公 開	東北、関東、九 州。	☐ A～C	一年生、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ。
14	SAN-301	粒	未 公 開	東北、関東、九 州。	× ④～B	{ 除草効果不十分 }
15	SAN-304	粒	未 公 開	東北、関東、九 州。	× ④～B	{ 除草効果不十分 }
16	SR-811	粒	未 公 開	北海道、東北、 関東、四国、九 州。	☐ B～D	一年生、マツバイ。〔薬害軽減〕

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および含有率	試験実施地域	判 定 結 果 概 要	
17	YH-431	乳	未 公 開	北海道, 東北, 北陸, 関東, 四 国, 九州.	○ ④濁水	一年生, マツバイ, ヘラオモダカ, ミズガヤツリ. [薬害軽減]
18	YH-433	粒	未 公 開	北海道, 東北, 北陸, 関東, 中 国, 九州.	□ C~E	一年生. [薬害軽減 - 効果向上]
19	HW-52	粒	未 公 開 8%	東北, 関東, 九 州.	○ B~F	<ノビエ対象専用剤としての検討> ノビエ適期幅 2 L (温暖地まで), 3~3.5 L (暖地).
20	NTN-801	粒	未 公 開 5%	東北, 関東, 九 州.	○ C~F	<ノビエ対象専用剤としての検討> ノビエ適期幅 3 L (温暖地まで), 3~3.5 L (暖地).

注) 判定欄の記号については, ◎:極めて有望, ○:有望, □:可能性あり, △:再検討, ×:見込みなし, を示し,
また④, A, B, C, D, E, F, G の記号はノビエを指標とする雑草ステージ別処理時期である. 即ち, ④:発
生前, A:ノビエ1 Lまで, B:1.5 Lまで, C:2 Lまで, D:2.5 Lまで, E:3 Lまで, F:3.5 Lまで,
G:4 Lまでを意味し, 雑草名は有効と判断されたものであり, []内は更に検討を要する課題・雑草名を示す.

第 2 表 昭和 56 年度 水稲作関係除草剤適 - 2 試験結果判定一覧表

判 定 区 分	実	実 お よ び 継	継	継?	中止
Ⅱ-1 土壤混和処理		ANK-553乳, CG-113乳, CH-81乳, G-315・B乳.	HW-863乳.		
Ⅱ-2 移植前後土壌処理	ブタクロール粒, MC-79粒.	CG-113粒, CG-SW◎粒, CH-81粒, G-315・SK粒, MH-93 A粒, MS-256粒, SL-49粒, X-52・SK-23粒, YH-3粒, YH-411粒.	HW-863粒, HW-864粒, MSW-2粒, MT-124粒.		
Ⅱ-3 移植後土壌処理		CG-113粒, MG-1粒, MM-3粒, MS-256粒, MS-358粒, MT-CG◎粒, SW-7817粒.	DK-707粒, H・MT-217粒, MT-224粒, MT-324粒, NTN-801粒, S-471粒, X-567粒, HOE-574粒.		
Ⅱ-4 茎葉兼土壌処理	シメトリン・MC PB粒.	CG-102◎粒.	HM-4粒, HW-52・SM粒, KUH-811粒, KUH-812粒, NTN-805粒, N TN-806粒, NY-24 A粒, SE-32粒, TH-80粒.		
Ⅱ-5 適用時期拡大	B-3015・S粒	MT-101粒, SB-77粒, SL-49粒, SW-751粒, B-3015・MCPB・BAS(Na)粒, B-3015	KUH-812粒, NTN-806粒, SE-32粒.		

判 定 区 分	実	実 お よ び 継	継	継?	中止
Ⅱ-5 適用時期拡大 (つづき)		・MCPB・BAS(酸)粒, CG-102 ①粒, HOK-05M粒, HOK-05P 粒, KH-199粒, シメトリン・MCP B粒, SMX粒, TH-80粒, YH- 5粒, KH-44粒, BAS-3510粒, MCP・BAS①粒, MCP・BAS (Na)液.			
Ⅱ-6-(1) クログワイ 対象		G-315・SK粒, MTS-1粒, X- 52・SK-23粒, YH-3粒, モリネ ートSM粒, SMX粒, MCP・BAS (Na)液.	S-471粒, X-567粒.		
Ⅱ-6-(2) オモダカ対 象		S-28・SM粒, SMX粒.			
Ⅱ-6-(3) ヒルムシロ 対象		HOK-05A粒, HOK-05M粒, シ メトリン・MCPB粒, S-28・SM 粒, SL-49粒.			
Ⅱ-6-(4) セリ対象		BAS-3510(酸)水和.			
Ⅱ-6-(5) コウキヤガ ラ対象		MCP・BAS(Na)液.			
Ⅱ-6-(6) シズイ対象		BAS-3510 水和.	B-3015S・BAS粒, SMX 粒.		
Ⅱ-6-(7) ウリカワ対 象(次年度 発生)			シメトリン・MCPB粒.		
Ⅱ-7 薬害軽減	BM- 3015・ ①粒, B -3015 S・①粒, B-3015 SM・① 粒	MTB-3015・①粒, SB-77・① 粒.			
Ⅲ-1 湛水直播		MY-93粒, SL-49粒, SW-751 粒.	CH-83粒, HW-52粒.		
Ⅲ-2 乾田直播		MY-93D乳.			
Ⅳ 畦畔雑草		Mon-39液, MW-801液, SL -236乳.	NC-101H微粒, NHS- 60水溶, OK-180乳.		

判 定	実	実 お よ び 継	継	継 ?	中止
区 分					
V 耕起前		AH-501㊟液, MW-801液.			
VI 休耕田		AH-501㊟液, Mon-39液.			
VII クリーク雑草		Mon-39液.			
VIII 体系是正		CG-SW粒, MT-CG粒, MS-358粒, SB-77粒, TH-63粒, SL-493粒, SL-494粒.	NTN-804粒.		

注 1) 上記薬剤のほか, CG-113粒→CG-102粒, SW-751粒→BAS-3510・SM粒, SW-751粒→モリネートSM粒, MTS-1粒→MT-101粒 + B-3015・S粒について試験実施され, それぞれ組み合わせ処理で有効と判断された.

注 2) 本年度は「継?」「中止」と判定された薬剤はなかった.

第 3 表 昭和 56 年度 水稻作関係除草剤適 - 2 使用基準一覧表

区 分	薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
II I 稚苗・土壌混和处理	1) ANK-553 乳 〔前年度試験名 AC-553〕	土壌混和处理	暖地の普通期.	一年生雑草.	植代直後(-3).	ml/a 50~65	砂壤土~ 埴土 (2cm/日以下).	
	2) CG-113 乳	土壌混和处理	寒地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ.	植代直後.	ml/a 50~65	埴土~ 埴土 (2cm/日以下).	
			寒冷地.	一年生雑草, マツバイ, ヘラオモダカ.				
	3) CH-81 乳	土壌混和处理	寒冷地以西の普通期.	一年生雑草, マツバイ.	整地板使用の直前直後.	ml/a 50~65	埴土~ 埴土 (2cm/日以下).	1) 混和時の水深 3~5 cm. 2) 移植後の深水をさける.
	4) G-315 B 乳	土壌混和处理	寒地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ.	植代直前直後(-3~-1).	ml/a 50~75	砂壤土~ 埴土 (2cm/日以下).	1) 混和時の水深 3~5 cm. 2) 混和深 2~3 cm. 3) 吸着の悪い土壌(砂壤土, 腐植含量の少ない土壌)では, 水の動きの少ない場合に薬害の危険性があるので十分注意する.
			寒冷地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ, ミズガヤツリ.				

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ-1 稚苗・土壌混和処理(つづき)	4) G-315B 乳 (つづき)		温暖地の早期・普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ, ミズガヤツリ. 〔但し, ヘラオモダカは温暖地東部のみ.〕		m/a 50~65		
			暖地の早期・普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ミズガヤツリ. 〔但し, ミズガヤツリは早期のみ.〕		50~65		
Ⅱ-2 移植前後土壌処理	1) ブタクロール粒	土壌処理	寒地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ.	-8~-+10(ノビエ1.5Lまで). ホタルイ: 発生前~2L. ヘラオモダカ: 発生前~始.	g/a 200~300	壇土~壇土 (2cm/日以下).	1) 極端な浅植えはさける. 2) 低温時には使用しない. 3) 200g/a 散布は多口ホース散布とする.
			寒冷地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ, ミズガヤツリ.	-6~-3. ヘラオモダカ: 発生前~始. ホタルイ: 発生前~2L. ミズガヤツリ: 発生前~3L.	200~300		
				一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ミズガヤツリ.	+3~+10(ノビエ1.5Lまで). ホタルイ: 発生前~2L. ミズガヤツリ: 発生前~3L.	300		
			温暖地東部の早期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ミズガヤツリ.	+3~+8(ノビエ1.5Lまで). ホタルイ: 発生前~2L. ミズガヤツリ: 発生前~2L.	300		
			温暖地の普通期.		-6~-3	200~300		
					+3~+10(ノビエ1.5Lまで).	300		

区分	薬 剤 名	処理法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ Ⅰ 2 移植前後 土壌処理 (つづき)	1) ブタクロール粒 (つづき)				ホタルイ：発生前～2L. ミズガヤツリ：発生前～3L.			
			暖地の早期.	一年生雑草，マツバイ.	-6～-3	g/a 200～300		
				一年生雑草，マツバイ，ホタルイ，ミズガヤツリ.	+3～+10(ノビエ1.5Lまで). ホタルイ：発生前～2L. ミズガヤツリ：発生前～3L.	300		
			暖地の普通期.	一年生雑草，マツバイ，ホタルイ，ミズガヤツリ.	+3～+10(ノビエ1.5Lまで). ホタルイ：発生前～2L. ミズガヤツリ：発生前～3L.	300		
	2) CG-113 粒 〔Ⅱ-3-1〕と共通	土壌処理	寒地.	一年生雑草，マツバイ，ホタルイ，ヘラオモダカ.	-5～+10(ノビエ1.5Lまで). ホタルイ，ヘラオモダカ，ミズガヤツリ：発生始まで.	g/a 300	壌土～埴土 (2cm/日以下). 〔但し， <u>温暖地西部の普通期</u> ， <u>暖地早期</u> は砂壌土(1cm/日以下)を含む.〕	
			寒冷地.	一年生雑草，マツバイ，ホタルイ，ヘラオモダカ，ミズガヤツリ.				
			温暖地の早期・普通期.	一年生雑草，マツバイ，ホタルイ，ヘラオモダカ，ミズガヤツリ. 〔但し，ヘラオモダカは温暖地東部のみ.〕	-3～+10(ノビエ1.5Lまで). ホタルイ，ヘラオモダカ，ミズガヤツリ：発生始まで.			
			暖地の早期.	一年生雑草，マツバイ，ホタルイ，ミズガヤツリ.	+3～ノビエ1Lまで. ホタルイ，ミズガヤツリ：発生始まで.			
			暖地の普通期.	一年生雑草，マツバイ，ホタルイ.	-3～+7(ノビエ1.5Lまで).			

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ Ⅰ 2 移 植 前 後 土 壌 処 理 (つづき)	2) CG-113粒 (つづき)			イ.	ホタルイ：発生 始まで。			
	3) 4) CG-SW [®] 粒	土 壌 処 理	<u>寒地.</u>	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヘラオモダ カ，ウリカワ。	-3, +3~+14 (ノビエ1.5Lま で)。 ホタルイ，ヘラ オモダカ：2L まで。 ウリカワ：発生 前~始。	g/a 300~ 400	砂壤土~ 埴土 (2cm/日 以下)。 〔但し， 暖地の 早期は (1cm /日以 下)。 寒地・ 寒冷地 は埴土 (2cm /日以 下)〕	1) ピラゾレートに準 ずる。 2) <u>泥炭質土壌では， ウリカワに対する効 果が低下することが ある。</u>
			寒冷地。	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヘラオモダ カ，ウリカワ， ミズガヤツリ。	-3, +3~+10 (ノビエ1.5Lま で)。 〔但し，温暖地〕 西部は-3, + 3~+7 (ノ ビエ1.5Lま で)〕			
			温暖地の早 期・普通期。	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ウリカワ， <u>ミズガヤツリ</u> 。 〔但し，ミズガ ヤツリは温暖 地西部の早期 を除く。〕	ホタルイ，ヘラ オモダカ，ミズ ガヤツリ：発生 始まで。 ウリカワ：2L まで。			
			<u>暖地の早期。</u>	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ウリカワ， ミズガヤツリ。	+3~+10 (ノビ エ1.5Lまで)。 ホタルイ：発生 前。 ミズガヤツリ： 発生始まで。 ウリカワ：2L まで。			
			暖地の普通 期。	一年生雑草，マ ツバイ， <u>ホタル イ</u> ，ウリカワ。	-3~+7 (ノビ エ1.5Lまで)。 ホタルイ：発生 前。 ウリカワ：2L まで。			
	5) CH-81 <u>粒</u>	土 壌 処 理	全域の普通 期。	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヘラオモダ カ。 〔但し，ホタル イ，ヘラオモ ダカは寒地の み〕	-3~+10 (ノビ エ1.5Lまで)。 ホタルイ，ヘラ オモダカ：発生 始まで。 〔但し，温暖地〕 以西は-3~ +7 (ノビエ1.5	g/a 300~ 400	砂壤土~ 埴土 (2cm/日 以下)。 〔但し， 寒冷地 ・温暖 地は埴	1) 深水処理はさける。

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ ― 2 移 植 前 後 土 壌 処 理 (つづき)	5) CH-81 粒 (つづき)				〔Lまで).		土～埴土(2cm/日以下), 暖地は埴埴土～埴土(2cm/日以下).	
	6) 7) G-315・SK粒 〔Ⅱ-6-1〕と共通	土壌処理	全域の普通期, 温暖地東部・ <u>暖地</u> の <u>早期</u> .	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ. 〔但し, ヘラオモダカは温暖地東部以北のみ.〕	-3～+5 (ノビエ1Lまで). ホタルイ, ヘラオモダカ: 発生始まで.	g/a 300	埴土～埴土(2cm/日以下). 〔但し, 温暖地西部は砂埴土～埴土(2cm/日以下), 暖地の早期は砂埴土～埴土(1cm/日以下).〕	1) 深水処理はさける. 2) クログワイ防除は, クログワイにも有効な後期処理剤と組み合わせて使用する.
			寒冷地.	<u>クログワイ</u> .	田植後(+5). クログワイ: 発生前～直後.	<u>400</u>		
			温暖地の普通期.	クログワイ.	田植後(+5). クログワイ: 発生始まで.	300		
	10) MC-79 粒	土壌処理	寒地, 寒冷地, 温暖地の早期・普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ. 〔但し, ヘラオモダカは温暖地西部の早期を除く.〕	-3～+8 (ノビエ1Lまで). 〔但し, 寒冷地は-7～+8 (ノビエ1Lまで). ホタルイ, ヘラオモダカ: 発生始まで.	g/a 300～ 400	砂埴土～埴土(2cm/日以下). 〔但し, 温暖地東部は砂埴土～埴土(極端な漏水田を除く).〕	1) 深水処理はさける.
			暖地の普通期.	一年生雑草, マツバイ.				
	11) MH-93A 粒	土壌処理	<u>寒地・寒冷地</u> .	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ.	-3, +3～+8 (ノビエ1Lまで). 〔但し, 寒地は+3～+8 (ノビエ1Lまで).〕	g/a 300～ 400	埴土～埴土(2cm/日以下). 〔但し, 寒地は砂埴土	1) <u>深水処理はさける</u> .
			<u>温暖地の普通期</u> .	一年生雑草, マツバイ.	ホタルイ, ヘラオモダカ: 発生			

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 1 2 移 植 前 後 土 壌 処 理 (つづき)	11) MH-93A 粒 (つづき)				始まで。		～埴土 (2cm /日以下)。	
	12) MS-256 粒 〔Ⅱ-3-6 と共通〕	土壌 処理	寒地。	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヘラオモダ カ，ヒルムシロ， ウリカワ。	-3～+10 (ノビ エ1.5Lまで)。 ホタルイ，ヘラ オモダカ：発生 始まで。	g/a 300～ 400	砂壤土～ 埴土 (2cm/日 以下)。 〔但し， 寒冷地 は埴土 ～埴土 (2cm /日以下)，暖 地の早期は砂 壤土～ 埴土(1 cm/日 以下)。	1) 極端な浅植えはさ ける。 2) 低温時には，使用 しない。 3) <u>泥炭質土壌では， ウリカワに対する効 果が低下することが ある。</u>
			寒冷地。	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ウリカワ， ヘラオモダカ， ミズガヤツリ， ヒルムシロ。	〔但し，寒冷地は〕 2Lまで， <u>温 暖地東部のヘ ラオモダカ2 Lまで。</u> ウリカワ，オモ ダカ，ミズガヤ ツリ：発生始ま で。			
			温暖地東部 の早期・普 通期。	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ウリカワ， <u>ヘラオモダカ</u> ， オモダカ，ミズ ガヤツリ，ヒル ムシロ。	〔但し，寒冷地の〕 <u>ウリカワは3 Lまで。</u> ヒルムシロ：発 生期。			
			温暖地西部 の早期・普 通期。	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ウリカワ， ミズガヤツリ， ヒルムシロ。 〔但し，ヒルム シロは普通期 のみ。〕				
			暖地の早期。	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ウリカワ， ミズガヤツリ。	+0～+10 (ノビ エ1.5Lまで)。 ホタルイ，ミズ ガヤツリ：発生 始まで。 ウリカワ：発生 前～2L。			
			暖地の普通 期。	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ウリカワ， ミズガヤツリ， ヒルムシロ。	-3～+7 (ノビ エ2Lまで)。 ホタルイ，ミズ ガヤツリ：発生 始まで。 ウリカワ：発生 前～2L。 ヒルムシロ：発 生期。			

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 2 移 植 前 後 土 壌 処 理 (つづき)	15) SL-49 粒 〔Ⅱ-6-3〕 と共通	土 壌 処 理	寒地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ, ウリカワ.	+3~+7 (ノビエ1 Lまで). ホタルイ, ヘラオモダカ, ウリカワ: 発生始.	g/a 300 ~ 400	砂壤土~ 埴土 (2cm/日以下). 〔但し, 温暖地 西部以 西の早 期は埴 土(2 cm/日 以下)〕	1) 泥炭質土壌では, ウリカワに対する効 果が低下することが ある. 2) 砂壤土で著しい高 温条件の時は, クロ ロシスの発生が著し いので注意する.
			寒冷地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ, ウリカワ, ミズガヤツリ.	-3, +3~+7 (ノビエ1 Lまで). ホタルイ, ヘラオモダカ: 発生始. ウリカワ: 2 L. ミズガヤツリ: 1 L.			
			温暖地東部の早期・普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ヒルムシロ. 〔但し, ヒルムシロは普通期のみ.〕	-3~+7 (ノビエ1 Lまで). ウリカワ, ホタルイ: 2 L. 〔但し, ホタルイは移植後処理のみ, ヒルムシロ: 発生始期まで.〕			
			温暖地西部の早期・普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ. 〔但し, ミズガヤツリは普通期のみ.〕	+3~+7 (ノビエ1 Lまで). ホタルイ: 発生始まで. ウリカワ, ミズガヤツリ: 2 L まで.			
			暖地の早期・普通期.	一年生雑草, マツバイ, ウリカワ, ヒルムシロ. 〔但し, ウリカワ, ヒルムシロは普通期のみ.〕	-3, +3~+7 (ノビエ1.5 Lまで). ウリカワ: 2 L まで. ヒルムシロ: 発生始期まで. 〔但し, 早期は+3~+7(ノビエ1 Lまで).〕			
	16) X-52・SK-23 粒 〔Ⅱ-6-1〕 と共通	土 壌 処 理	寒地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ.	-3~+7 (ノビエ1 Lまで). ホタルイ, ヘラオモダカ, ヒメホタルイ, クログワイ: 発生始まで.	g/a 300 ~ 400 〔但し, +0 は 300 の み.〕	埴土~ 埴土 (2cm/日以下). 砂 埴 土 (1cm/日以下).	1) X-52 粒剤に準ずる. 2) 深水处理はさける. 3) クログワイ防除は, クログワイにも有効な後期処理剤と組み合わせる.
			寒冷地.	一年生雑草, マツバイ, ホタル				

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 1 2 移 植 前 後 土 壌 処 理 (つづき)	16) X-52・SK-23粒 (つづき)			イ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、クログワイ。	〔但し、温暖地西部のクログワイは+0～+7.〕 ミズガヤツリ：発生前～3L.			
			温暖地の早期・普通期.	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ヒメホタルイ、ミズガヤツリ、 <u>クログワイ</u> 。 〔但し、クログワイは温暖地西部の早期を除く。〕				
			暖地の早期・普通期.	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ミズガヤツリ、クログワイ。 〔但し、ミズガヤツリは早期のみ、クログワイは普通期のみ。〕				
	17) YH-3粒 〔Ⅱ-6-1〕と共通	土壌処理	寒地.	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ。	-3～+7 (ノビエ1Lまで)。 ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ：発生前～2L。 クログワイ：発生始まで。	g/a 300～400	壤土～ 埴土 (2cm/日以下)。	1) 深水処理はさける。 2) クログワイ防除は、クログワイにも有効な後期処理剤と組み合わせて使用する。
			寒冷地.	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、 <u>クログワイ</u> 。				
			<u>温暖地の早期・普通期.</u>	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ミズガヤツリ、クログワイ。 〔但し、クログワイは普通期のみ。〕			砂壤土～ 埴土 (2cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部の早期は壤土～埴土(2cm/日以下)〕	
			<u>暖地の早期・普通期.</u>	一年生雑草、マツバイ、ミズガヤツリ。			壤土～ 埴土 (1cm/日以下)。	

区分	薬 剤 名	処理法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ — 2 移植前後土壌処理（つづき）	17) YH-3 粒 （つづき）			〔但し、ミズガヤツリは早期のみ。〕	発生前～2 L.		以下）.	
	18) YH-411 粒	土 壌 処 理	寒地.	一年生雑草，マツバイ，ホタルイ，ヘラオモダカ.	-3～+5（ノビエ1 Lまで）. ホタルイ，ヘラオモダカ，ミズガヤツリ：発生前～始.	g/a 300～ 400	壤土～ 埴土 （2cm/日以下）.	1）深水処理はさける.
			寒冷地.	一年生雑草，マツバイ，ホタルイ，ヘラオモダカ， <u>ミズガヤツリ</u> .			〔但し， 暖地は （1 cm /日以 下）.〕	
			<u>温暖地以西の普通期</u> ， <u>温暖地東部の早期</u> .	一年生雑草，マツバイ，ホタルイ.				
Ⅱ — 3 移植後土壌処理	1) CG-113 粒	< Ⅱ-2-2 参 照 >						
	4) MG-1 粒	土 壌 処 理	全域の普通期，温暖地東部の早期.	一年生雑草，マツバイ， <u>ホタルイ</u> ，ヘラオモダカ，ウリカワ. 〔但し，ヘラオモダカは寒地のみ。〕	+3～+7（ノビエ1 Lまで）. ホタルイ，ヘラオモダカ，ウリカワ：発生始まで。 〔但し，温暖地西部以西ではホタルイ，ウリカワともに2 Lまで。〕	g/a 300～ 400	壤土～ 埴土 （1.5 cm/日以下）. 〔但し，温暖地東部は砂壤土～埴土（1.5 cm/日以下）.〕	1）深水にならないように注意する.
	5) MM-3 粒	土 壌 処 理	寒地.	一年生雑草，マツバイ，ホタルイ，ヘラオモダカ，ウリカワ.	+3～+10（ノビエ1.5 Lまで）. ホタルイ，ヘラオモダカ，ウリカワ，ミズガヤツリ：発生始～2 L.	g/a 300～ 400	壤土～ 埴土 （1.5 cm/日以下）.	1）ブタクロール粒剤に準ずる.
	寒冷地.	一年生雑草，マツバイ，ホタルイ，ヘラオモダカ，ウリカワ，ミズガヤツリ.						
	温暖地の普通期，温暖地東部の早期.	一年生雑草，マツバイ，ホタルイ，ウリカワ，ミズガヤツリ.						

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 1 3 移 植 後 土 壌 処 理 (つづき)	5) MM-3 粒 (つづき)		暖地の普通 期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ.				
	6) MS-256 粒		<Ⅱ-2-12 参照>					
	7) MS-358 粒	土 壌 処 理	寒地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ, ヒルムシロ, ウリカワ.	-3, +3 ~ +10 (ノビエ1.5 Lま で). ホタルイ, ヘラ オモダカ, ミズ ガヤツリ: 2 L まで. ウリカワ: 3 L まで. ヒルムシロ: 発 生期.	g/a 300 〔但し,〕 寒地 は 300 〔~400〕	砂壤土~ 埴土 (2cm/日 以下). 〔但し,〕 寒地 ・温暖 地東部 は埴土 ~埴土 (2cm /日以 下).	1) ブタクロールおよ びピラゾレート粒剤 に準ずる. 2) 泥炭質土壌では, ウリカワに対する効 果が低下することが ある.
			寒地, 温 暖地東部の 普通期・早 期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ヘラオモダカ, ミズガヤツリ, ヒルムシロ.				
			温暖地西部 の普通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ミズガヤツリ, ヒルムシロ.	+3 ~ +10 (ノビ エ2 Lまで). ホタルイ, ミズガ ヤツリ: 2 Lまで. ウリカワ: 3 Lまで ヒルムシロ: 発生期.			
			暖地の普通 期	一年生雑草, マ ツバイ, ウリカ ワ, ヒルムシロ.	+3 ~ +7 (ノビ エ2 Lまで). ウリカワ: 3 Lまで. ヒルムシロ: 発生期.			
	10) MT-CG① 粒	土 壌 処 理	寒地・寒地 .	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ, ウリカワ.	+3 ~ +10 (ノビ エ1.5 Lまで). ホタルイ, ヘラ オモダカ, ウリ カワ: 2 Lまで.	g/a 300 ~ 400	砂 壤 土 (1cm/日 以下). 埴土~ 埴土 (2cm/日 以下). 〔但し,〕 寒地と 暖地は 砂壤土 を除く.	
			温暖地西部 以西の普通 期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ. 〔但し, ホタル イは温暖地西 部のみ.〕	+3 ~ +7 (ノビ エ1.5 Lまで). ホタルイ: 発生 始まで. ウリカワ: 2 L まで.			
	13) SW-7817 粒	土 壌 処 理	寒地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ.	+0 ~ +7 (ノビ エ1 Lまで). ホタルイ, ウリ カワ: 発生始ま で.	g/a 300 ~ 400	砂壤土~ 埴土 (2cm/日 以下).	1) 砂壤土で著しい高 温条件の時は, クロ ロシスの発生が著し いので注意する. 2) 深水処理はさける.
			温暖地の普	一年生雑草, マ	-3 ~ +7 (ノビ			

区分	薬 剤 名	処理法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ Ⅰ 3 移植後土壌処理(つづき)	13) SW-7817 粒 (つづき)	土 境 処 理	通期, 温暖地東部の早期.	ツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ. 〔但し, ミズガヤツリは温暖地西部の普通期のみ.〕	エ1 Lまで). ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ: 発生始まで.			
			暖地の早期・普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ヒルムシロ. 〔但し, ホタルイ, ヒルムシロは普通期のみ.〕	+0 ~ +7 (ノビエ 1.5 Lまで). 〔但し, 早期はノビエ 1 Lまで.〕 ホタルイ: 発生始まで. ウリカワ: 発生前 ~ 2 L. ヒルムシロ: 発生期.			
Ⅱ Ⅰ 4 茎葉兼土壌処理	9) CG-102① 粒	茎葉・土壌処理	温暖地西部の普通期.	一年生雑草, マツバイ, ヒルムシロ.	+10 ~ ノビエ 2 Lまで. ヒルムシロ: 発生盛期 ~ 増殖初期.	g/a 300	砂壤土 ~ 埴土 (2cm/日以下).	1) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる.
	10) TH-80 粒	茎葉・土壌処理	暖地の普通期.	一年生雑草, マツバイ.	+7 ~ ノビエ 2.5 Lまで.	g/a 300 ~ 400	砂壤土 ~ 埴土 (1cm/日以下).	1) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる.
	11) シメトリン・MCPB 粒		＜Ⅱ-5 の項参照＞					
Ⅱ Ⅰ 5 適用時期拡大	1) MT-101 粒	土 境 処 理	寒冷地以西の普通期, 温暖地東部・暖地の早期.	一年生広葉雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ. 〔但し, ホタルイは温暖地東部の早期, 温暖地西部のみ.〕	田植前後土壌処理した場合, +5 ~ +15. 〔但し, 温暖地東部の早期は+10 ~ +15, 暖地の普通期は+5 ~ +10, 暖地の早期は+10 ~ +20.〕 ホタルイ: 発生始 ~ 2 L. ウリカワ: 発生始 ~ 3 L. 但し, 温暖地	g/a 300 ~ 400	砂壤土 ~ 埴土 (2cm/日以下). 〔但し, 温暖地東部の早期は埴土 ~ 埴土 (2cm/日以下).〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する.

区分	薬 剤 名	処理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 5	1) MT-101 粒 (つづき)				の普通期のウ リカワは発生 始～4L.			
適 用 時 期 拡 大	2) SB-77 粒	土 壌 処 理	寒地、寒冷 地、温暖地 東部の普通 期.	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ヘラオモダ カ、ウリカワ、 ミズガヤツリ。 〔但し、ミズガ ヤツリは寒地 を除く。ヘラ オモダカは温 暖地東部を除 く。〕	田植前後土壌処 理した場合、 +10～+20(ノ ビエ1.5Lまで)。 ホタルイ、ヘラ オモダカ、ウリ カワ、ミズガヤ ツリ：2Lまで。	g/a 300	砂壌土～ 埴土 (2cm/日 以下)。	1) 前処理剤との組み 合せで使用する。 2) 泥炭質土壌では、 ウリカワに対する効 果が低下することが ある。
	3) SL-49 粒	土 壌 処 理	寒冷地。 温暖地東部 の早期。 温暖地西部 の早期・普 通期。 暖地の早期 ・普通期。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ヘラオモダ カ、ウリカワ、 ミズガヤツリ。 一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ。 一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ、 ミズガヤツリ、 オモダカ、ヒル ムシロ。 〔但し、オモダ カ、ヒルムシ ロは普通期の み。〕 一年生雑草、マ ツバイ、ウリカ ワ。	田植前後土壌処 理した場合、 +10～+15(ノ ビエ1Lまで)。 〔但し、暖地は 1.5Lまで。〕 ヘラオモダカ： 発生始。 ホタルイ、ミズ ガヤツリ、オモ ダカ：2Lまで。 〔但し、寒冷地 のホタルイは 発生始まで。〕 ウリカワ：3L まで。 ヒルムシロ：発 生期まで。	g/a 300	砂壌土～ 埴土 (2cm/日 以下)。	1) 前処理剤との組み 合せで使用する。 2) 泥炭質土壌では、 ウリカワに対する効 果が低下することが ある。
	4) 5) SW-751 粒	土 壌 処 理	寒地。 寒冷地。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ヘラオモダ カ、ウリカワ。 一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ヘラオモダ カ、ウリカワ、 ヒルムシロ。	田植前後土壌処 理した場合、 寒地～温暖地東 部：+5～+20 (ノビエ1.5Lま で)。 〔但し、寒地、 寒冷地はノビ エ1Lまで。〕 温暖地西部以西	g/a 300	砂壌土～ 埴土 (2cm/日 以下)。 〔但し、 寒地は 埴土～ 埴土(2 cm/日 以下)〕	1) 前処理剤との組み 合せで使用する。 2) 砂壌土で著しい高 温条件の時は、クロ ロシスの発生が著し いので注意する。 3) 泥炭質土壌では、 ウリカワに対する効 果が低下することが ある。

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 5 適用 時期 拡大 (へつづき)	4) 5) SW-751 粒 (つづき)		温暖地東部の早期・普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ, ヒルムシロ.	: +5~+15 (ノビエ 1.5 L まで). 〔但し, 暖地は〕 ノビエ 2 L まで.			
			温暖地西部の普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ, ヒルムシロ.	ホタルイ, ミズガヤツリ: 発生始まで. ウリカワ: 発生前~2 L. 〔但し, 温暖地〕 〔東部は 4 L.〕			
			暖地の普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ.	ヘラオモダカ: 発生始~2 L. ヒルムシロ: 発生期.			
	6) B-3015 ・MCPB・ BAS(Na) 粒	茎葉・土壌処理	寒冷地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ, ミズガヤツリ, ウリカワ.	田植前後土壌処理した場合, +20~+25 (ノビエ 2.5 L まで). ホタルイ, ヘラオモダカ, ミズガヤツリ: 3 L まで. ウリカワ: 4 L まで.	g/a 300 ~ 400	壤土~ 埴土 (2 cm/日以下).	1) 前処理剤との組み合わせで使用する.
	7) B-3015 ・MCPB・ BAS(酸) 粒	茎葉・土壌処理	寒冷地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ, ミズガヤツリ, ウリカワ.	田植前後土壌処理した場合, +20~+25 (ノビエ 2.5 L まで). ホタルイ, ヘラオモダカ, ミズガヤツリ: 3 L まで. ウリカワ: 4 L まで.	g/a 300 ~ 400	壤土~ 埴土 (2 cm/日以下).	1) 前処理剤との組み合わせで使用する.
	8) B-3015 S 粒	茎葉・土壌処理	全域の早期・普通期.	一年生雑草, マツバイ.	田植前後土壌処理した場合, +15~+25 (ノビエ 2 L まで). 〔但し, 〕 〔寒地は 300 〕	g/a 300 ~ 400	砂壤土~ 埴土 〔極端な〕 〔漏水田はさける.〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する.
	9) CG-102 ①粒	茎葉・土壌処理	寒冷地以西の普通期.	一年生雑草, マツバイ, ヒルムシロ. 〔但し, ヒルムシロは温暖地〕	田植前後土壌処理した場合, +15~+20 (ノビエ 2 L まで). ヒルムシロ: 発	g/a 300 ~ 400	砂壤土~ 埴土 (2 cm/日以下). 〔但し, 〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる.

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 15 適用時期拡大(つづき)	9) CG-102 ①粒 (つづき)			[東部を除く.]	生盛～増殖初期.		寒冷地は壤土～埴土(2cm/日以下).	
	10) HOK-05 M 粒	茎葉・土壌処理	寒地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ.	田植前後土壌処理した場合, +20～+25 (ノビエ 2.5 L まで). 〔但し, 寒地は〕ノビエ 2 L まで. ホタルイ: 2 L まで. ヘラオモダカ: 3 L まで. ウリカワ: 4 L まで. ヒルムシロ: 増殖初期.	g/a 300 ～ 400	砂壤土～埴土(2cm/日以下). 〔但し, 寒冷地は壤土～埴土(2cm/日以下). 暖地は埴土(1cm/日以下).〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる. 3) 低温時は, 葉害発生の危険性があるので使用はさける.
			寒冷地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ, ウリカワ.				
			温暖地以西の普通期.	一年生雑草, マツバイ, <u>ホタルイ</u> , ウリカワ, <u>ヒルムシロ</u> .				
	11) HOK-05 P 粒	茎葉・土壌処理	寒冷地・温暖地の普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ, ウリカワ, ヒルムシロ. 〔但し, ヘラオモダカは寒冷地, ヒルムシロは温暖地のみ.〕	田植前後土壌処理した場合, +20～+25 (ノビエ 2 L まで). ホタルイ: 2 L まで. ヘラオモダカ: 3 L まで. ウリカワ: 4 L まで. ヒルムシロ: 増殖初期.	g/a 300 ～ 400	埴土～埴土(1.5cm/日以下).	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる. 3) 低温時は, 葉害発生の危険性があるので使用はさける.
	12) KH-199 粒	茎葉・土壌処理	寒地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ.	田植前後土壌処理した場合, 寒地: +20～+30. 寒冷地・暖地: +20～+25. 温暖地: +15～+20 (ノビエ 1.5 L まで). 〔但し, 寒冷地以北はイネ 5 L 期以降.〕 ホタルイ: 発生始～2 L.	g/a 300 ～ 400 〔但し, 寒地・暖地は 300 のみ.〕	砂壤土～埴土(2cm/日以下). 〔但し, 寒地・温暖地・東部・暖地は埴土～埴土.〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる. 3) 低温時は, 葉害発生の危険性があるので使用はさける.
			寒冷地, 温暖地東部の早期・普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, <u>ヒルムシロ</u> . 〔但し, ヒルムシロは温暖地東部の普通期のみ.〕				

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 5 適用 時期 拡大 (つづき)	12) KH-199 粒 (つづき)		温暖地西部 の早期・普通 期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ヒルムシロ, ウ キクサ. 〔但し, ホタル イは普通期の み.〕	ヘラオモダカ: 発生始~4 L. ウリカワ: 発生 盛~5 L. ヒルムシロ: 発 生盛~増殖初 期.			
			暖地の早期 ・普通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ヒルムシロ. 〔但し, ホタル イは早期のみ. ヒルムシロは 普通期のみ.〕				
	15) シメトリ ン・MCPB 粒 〔Ⅱ-6-3 と共通〕	茎葉・土 壌処 理	寒地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ, ヒルムシロ.	田植前後土壌処 理した場合, +20~+25 (ノ ビエ 1.5 L まで). 〔但し, 寒地は +20~+30, 寒冷地以北は イネ 5 L 期以 降.〕	g/a 300 ~ 400 〔但し, 〕 寒地・ 暖地は 300 の み.	壤土~ 埴土 (2cm/日 以下). 砂壤土 (1cm/日 以下). 〔但し, 〕 暖地早 期は埴 土~ 埴土(1 cm/日 以下).	1) 前処理剤との組み 合せて使用する. 2) シメトリン混合剤 の使用上の注意をま もる. 3) 低温時は, 葉害発 生の危険性があるの で使用はさける.
			寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ヒルムシロ. 〔但し, ウリカ ワは寒冷地南 部のみ.〕	ホタルイ: 発生 始~2 L. ウリカワ: 発生 前~5 L.			
			温暖地以西 の普通期, 温暖地東部 および暖地 の早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ヒルムシロ. 〔但し, ホタル イは温暖地西 部の普通期の み, ヒルムシ ロは温暖地の 普通期のみ.〕	〔但し, 暖地普 通期は 3~8 L.〕 ヘラオモダカ: 発生始~4 L. ヒルムシロ: 増 殖初期.			
	17) SMX 粒 〔Ⅱ-6-1, Ⅱ-6-2, Ⅱ-6-6 と共通〕	茎葉・土 壌処 理	寒地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ, オモダカ.	田植前後土壌処 理した場合, 寒地: +20~+ 30 (ノビエ 1.5 L). 〔但し, 〕 クログ ワイと 温暖地 東部の オモダ カは	g/a 300 〔但し, 〕 クログ ワイと 温暖地 東部の オモダ カは	砂壤土~ 埴土 (2cm/日 以下). 〔但し, 〕 寒地と 温暖地 西部の 早期は	1) 前処理剤との組み 合せて使用する. 2) シメトリン混合剤 の使用上の注意をま もる. 3) 低温時は, 葉害発 生の危険性があるの で使用はさける. 4) クログワイ防除は,
			寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ, ウリカワ,	寒冷地: +20~ +25 (ノビエ 2 L). 温暖地普通期:			

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 5 適用 時期 拡大 (つづき)	17) SMX粒 (つづき)			ミズガヤツリ, オモダカ, <u>クログワイ</u> .	+15~+25 (ノ ビエ 2 L). <u>温暖地西部の早期</u> および暖地: +20~+25 (ノ ビエ 1.5 L). 〔但し, 寒冷地 以北はイネ 5 L 期以降.〕	300 ~ 400.	壤土~ 埴土(2 cm/日 以下), 暖地は 埴埴土 ~埴土 (1.5 cm/日 以下).	<u>クログワイに有効な 前処理剤との組み合 せで使用する.</u>
			温暖地以西 の普通期, <u>温暖地西部</u> ・暖地の早 期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ミズガヤツリ, オモダカ. 〔但し, ミズガ ヤツリは暖地 普通期を除く. <u>オモダカは温 暖地東部の普 通期のみ.</u> 〕	ホタルイ, ヘラ オモダカ, ウリ カワ, ミズガヤ ツリ: 発生盛~ 5 L. 〔但し, 暖地の ウリカワは 3 ~8 L. オモダカ: 発生 盛~6 L. 〔但し, 温暖地 東部のオモダ カは+20~+ 25. <u>クログワイ: 発 生始期.</u> 〕			
	18) 19) 20) TH-80粒	茎葉 ・土 壌処 理	<u>寒冷地以西</u> の普通期	一年生雑草, マ ツバイ, <u>ホタル イ, ウリカワ,</u> ヒルムシロ. 〔但し, ホタル イは温暖地東 部を除く, ヒ ルムシロは温 暖地西部のみ.〕	田植前後土壌処 理した場合, +15~+25 (ノ ビエ 2.5 L まで). 〔但し, 寒冷地 は+20~+25.〕 ホタルイ: 揃~ 2 L. ウリカワ: 揃~ 5 L. ヒルムシロ: 発 生盛~増殖初 期.	g/a 300 ~ 400	砂壤土~ 埴土 (2cm/日 以下). 〔但し, 〕 暖地は 埴埴土 ~埴土.	1) 前処理剤との組み 合せて使用する. 2) シメトリン混合剤 の使用上の注意をま もる.
	21) YH-5粒	茎葉 ・土 壌処 理	寒地. 寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ, <u>ウリカワ</u> . 一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, <u>ヘラオモダ カ, ミズガヤツ リ.</u>	田植前後土壌処 理した場合, 寒地: +20~+ 30 (ノビエ 2 L まで). 寒冷地以西: + 20~+25 (ノ ビエ 2.5 L ま で).			

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ ー 5 適 用 時 期 拡 大 (つづき)	21) YH-5粒 (つづき)		温暖地の早期・普通期、 暖地の早期。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、 <u>ミズガヤツリ</u> 。 〔但し、 <u>ミズガヤツリ</u> は温暖地西部の普通期を除く。〕	〔但し、暖地は〕 ノビエ2Lまで、寒冷地以北はイネ5L 期以降。 ホタルイ：発生 始～2L。 ウリカワ、ヘラ オモダカ：発生 始～4L。 ミズガヤツリ： 発生始～3L。			
	22) KH-44 粒	茎葉・土壌処理	寒冷地、温暖地東部の普通期。	一年生雑草、マツバイ、ウリカワ、ヒルムシロ。 〔但し、ヒルムシロは寒冷地を除く。〕	田植前後土壌処理した場合、 +20～+25 (ノビエ2Lまで)。 ウリカワ：4Lまで。 ヒルムシロ：発生盛～増殖初期。	g/a 300～ 400	壤土～ 埴土 (2cm/日以下)。	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) シメトリン混合剤使用上の注意をまもる。 3) 低温時は、薬害発生の危険性があるので使用はさける。
	23) BAS-3510粒	茎葉処理（浅水もしくは落水散布）	寒地。	一年生非イネ科雑草、マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、 <u>ウリカワ</u> 。	田植前後土壌処理した場合、 一年生非イネ科：生育期。 ホタルイ：発生盛～花茎抽出始期。	g/a 300～ 400 〔但し、寒地は400～600。〕	砂壤土～ 埴土 (1.5cm/日以下)。 〔但し、寒地は埴土～ 埴土 (2cm/日以下)〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) 落水もしくは浅水で使用する。 3) 処理後の灌水は、48～72時間経過後に行なう。 4) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は、使用をさしひかえる。 5) 寒地浅水処理は、浅水処理後3日間止水する。
			寒冷地、温暖地東部の早期・普通期。	一年生非イネ科雑草、マツバイ、ホタルイ、 <u>ヘラオモダカ</u> 、ウリカワ、オモダカ、ミズガヤツリ。	ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ：発生盛～増殖初期。 〔但し、温暖地以西は発生盛～増殖中期。〕			
			温暖地西部以西の普通期、暖地の早期。	一年生非イネ科雑草、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、オモダカ、ミズガヤツリ。 〔但し、オモダカは暖地早期を除く。〕	オモダカ：発生盛～発生摘期。 〔但し、温暖地西部以西は発生盛～矢じり葉初期。〕			
	24) MCP・BAS (Na) ① 粒	茎葉処理	寒地。	一年生非イネ科雑草、マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ。	田植前後土壌処理した場合、 +30～+45。 〔但し、温暖地および暖地早	g/a 300～ 400	砂壤土～ 埴土 (1.5cm/日以下)。 〔但し、〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) 落水もしくは浅水で使用する。 3) 処理後の灌水は、

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 5 適 用 時 期 拡	24) MCP・BAS (Na)① 粒 (つづき)	(浅水もしくは落水散布)	寒冷地.	一年生非イネ科雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ, <u>ヘラオモダカ</u> .	期: +20~+30. 暖地普通期: +15~+30 一年生非イネ科: 生育期. ホタルイ: 発生揃~4 L. ヘラオモダカ, ミズガヤツリ: 発生揃~6 L. ウリカワ: 増殖開始前.		暖地早期は壤土~埴土.	48~72時間経過後に行う. 4) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は, 使用をさしひかえる.
			温暖地以西の普通期, 温暖地東部および暖地の早期.	一年生非イネ科雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ.				
大 (つづき)	25) MCP・BAS (Na) 液 〔Ⅱ-6-1, Ⅱ-6-5 と共通〕	茎葉処理(落水散布)	寒冷地.	一年生非イネ科雑草, マツバイ, ホタルイ, <u>ヘラオモダカ</u> , <u>ミズガヤツリ</u> , <u>セリ</u> , <u>クログワイ</u> , <u>コウキヤガラ</u> .	MCP 散布期に準ずる. 〔但し, 寒冷地: +40~+48 暖地の早期: +40~+50. 暖地の普通期: +15~+26.〕	m/a 30~50	全土壌	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) 水稻になるべくかからないようにする. 3) 処理後の灌水は, 48~72時間経過後に行う. 4) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は, 使用をさしひかえる. 5) クログワイ防除は, クログワイに有効な前処理剤との組み合わせで使用する.
			温暖地の早期・普通期	一年生非イネ科雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ, ウリカワ, オモダカ, ミズガヤツリ, クログワイ, コウキヤガラ, セリ. 〔但し, ヘラオモダカ, オモダカ, クログワイ, コウキヤガラ, セリは温暖地西部の早期を除く.〕	一年生非イネ科: 生育期. ホタルイ: 発生揃~4 L. ヘラオモダカ: 発生揃~5 L. ウリカワ: 塊茎形成前. オモダカ: 発生盛~揃期. ミズガヤツリ: 発生揃~8 L. クログワイ, セリ: 増殖盛期. 〔但し, 寒冷地のクログワイは草丈30 cmまで, コウキヤガラ: 40~60 cm.〕 〔但し, 温暖地以西普通期のコウキヤガラ対象は+30~+40.〕			
			暖地の早期・普通期.	一年生非イネ科雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ, ウリカワ, ミズガヤツリ, クログワイ, <u>コウキヤガラ</u> , <u>セリ</u> . 〔但し, ヘラオモダカ, クログワイは普通				

区分	薬 剤 名	処理法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壤	使 用 上 の 注 意
Ⅱ-5 (つばき)	25) MCP・BAS(Na)液 (つづき)			〔期のみ, セリ〕 〔は早期のみ.〕				
Ⅱ-6-1 クログワイ	1) G-315・SK 粒		< Ⅱ-2-6, 7 参照 >					
	2) 3) MTS-1 粒	土 壌 処 理	全域の早期・普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, クログワイ. 〔但し, クログワイは寒冷地, 温暖地の普通期および温暖地東部の早期のみ.〕	-3~+7 (ノビエ 1 L まで). ホタルイ, クログワイ: 発生始まで.	g/a 300 ~ 400	壤土~ 埴土 (2cm/日以下).	1) CNP に準ずる. 2) クログワイ防除はクログワイにも有効な後期処理剤と組み合わせて使用する.
ワ イ	5) X-52・SK-23 粒		< Ⅱ-2-16 参照 >					
対 象	7) YH-3 粒		< Ⅱ-2-17 参照 >					
	8) モリネット SM 粒	茎 葉 ・ 土 壌 処 理	寒地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ.	田植前後土壌処理した場合, +20~+30 (ノビエ 3.5 L まで). 〔但し, 寒地は 2.5 L まで, 寒冷地以北はイネ 5 L 期以降. 暖地の普通期は +20~+25 (ノビエ 3.5 L まで).	g/a 300 ~ 400	砂壤土~ 埴土 (2cm/日以下). 〔但し, 暖地の普通期は (1 cm/日以下).〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる. 3) 低温時の使用は, 葉害発生の危険性があるのでさける. 4) ミズガヤツリの場合, ミズガヤツリに有効な土壌処理剤 (前処理剤) との組み合わせで使用する. 5) クログワイ防除は, クログワイに有効な前処理剤との組み合わせで使用する.
			寒冷地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ, ウリカワ, オモダカ, ミズガヤツリ, クログワイ.	ホタルイ, オモダカ: 発生始~ 5 L. ウリカワ, ヘラオモダカ: 発生始~ 4 L. ミズガヤツリ: 発生始~ 2~ 6 L. ヒメホタルイ: 草丈 10cm 以下. クログワイ: 発			
			温暖地東部の早期・普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ, ヒメホタルイ, クログワイ. 〔但し, クログワイは普通期のみ.〕				
			温暖地西部以西の早期	一年生雑草, マツバイ, ホタル				

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 6-3 クログワイ対象 (つづき)	8) モリネット SM 粒 (つづき)		・普通期.	イ, ウリカワ, ミズガヤツリ.	生始〜草丈5 〜10cm. 〔但し, 暖地の 普通期ではウ リカワ: 3〜 6L. ミズガヤ ツリ: 発生揃 〜6L.〕			
	9) SMX粒		< Ⅱ-5-17 参照 >					
	10) MCP・ BAS(Na) 液		< Ⅱ-5-25 参照 >					
Ⅱ 16 12 オ モ ダ カ 対 象	1) S-28SM 液 〔Ⅱ-6-3 と共通〕	茎葉・土 壌処 理	寒地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ.	田植前後土壌処 理した場合, 寒地: +20〜+ 30(ノビエ2L まで, イネ5 L期以降). 寒冷地: +20〜 +30(ノビエ 2.5Lまで, イ ネ5L期以降). 温暖地以西: + 20〜+25(ノ ビエ2.5Lま で). ホタルイ: 発生 始〜2L. ヘラオモダカ, ウリカワ: 発生 始〜4L. ヒメホタルイ: 草丈5〜10cm ヒルムシロ: 発 生盛〜増殖初 期.	g/a 300 〔但し, 寒冷地 は300 〜400.〕	壤土〜 埴土 (2cm/日 以下). 〔但し, 寒冷地 以西は 砂壤土 (1cm /日以下) を 含む.〕	1) 前処理剤との組み 合せて使用する. 2) シメトリン混合剤 の使用上の注意をま もる. 3) 低温時は, 葉害発 生の危険性があるの で使用はさける.
			寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ, ウリカワ, ヒルムシロ.				
			温暖地東部 の早期・普 通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ, ウリカワ, ヒメホタルイ, ヒルムシロ. 〔但し, ヒルム シロは普通期 のみ.〕				
Ⅱ 6-3 ヒルムシロ対象			温暖地西部 以西の早期 ・普通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ. 〔但し, ホタル イは暖地の早 期のみ.〕				
	2) SMX粒		< Ⅱ-5-17 参照 >					
	1) HOK-05A 粒	茎葉・土 壌処 理	寒地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ, ヒルムシロ.	田植前後土壌処 理をした場合, 寒地: +20〜+ 30(ノビエ1.5 Lまで). 〔但し, イネ5〕	g/a 300〜 400 〔但し, 寒冷地は 300〕	壤土〜 埴土 (2cm/日 以下). 〔但し, 寒冷地は	1) 前処理剤との組み 合せて使用する. 2) シメトリン混合剤 の使用上の注意をま もる. 3) 低温時は, 葉害発
			寒冷地.	ヒルムシロ.				

区分	薬 剤 名	処理法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 6 3 ヒ ル ム シ ロ 対 象 (つづき)	1) HOK-05 A 粒 (つづき)		温暖地東部の早期・普通期.	一年生雑草, マツバイ, <u>ヒルムシロ</u> . 〔 <u>但し, ヒルムシロは普通期のみ</u> .〕	〔L以降, 寒冷地・温暖地東部: +20~+25(ノビエ1.5Lまで). ホタルイ, ヘラオモダカ: 発生始~2L. ヒルムシロ: 発生盛~増殖初期.		<u>砂壤土</u> ~ <u>埴土</u> (2cm/日以下).	生の危険性があるので, 使用はさける.
	2) HOK-05 B 粒	茎葉・土壌処理	寒冷地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ, ウリカワ, <u>ヒルムシロ</u> .	田植前後土壌処理した場合, +20~+25(ノビエ2Lまで). 〔 <u>但し, 暖地の普通期は+16~+25, 寒冷地はイネ5L期以降</u> .〕	g/a 300~400	埴土~ 埴土 (2cm/日以下). <u>砂 壤 土</u> (1cm/日以下).	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる. 3) 低温時は, 葉害発生の危険性があるので, 使用はさける.
	温暖地東部の普通期.		一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ, ウリカワ, セリ, <u>ヒルムシロ</u> .	ホタルイ: 発生始~2L. ウリカワ, ヘラオモダカ: 発生始~5L. セリ: 増殖初期まで.				
	温暖地西部以西の普通期, 暖地の早期.		一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, <u>ヒルムシロ</u> . 〔 <u>但し, ヒルムシロは暖地の普通期のみ</u> .〕	ヒルムシロ: 発生盛~増殖初期.				
	3) シメトリ ン・MCPB 粒	< Ⅱ-5-15 参照 >						
	4) S-28・SM 粒	< Ⅱ-6-2-1 参照 >						
	5) SL-49 粒	< Ⅱ-2-15 参照 >						
Ⅱ 6 4 セ リ 対 象	1) BAS-3510(酸) 水和 〔Ⅱ-6-6 と共通〕	茎葉処理 (落水散布)	寒冷地.	一年生非イネ科雑草, ホタルイ, ヘラオモダカ, ウリカワ, オモダカ, ミズガヤツリ, クログワイ, セリ, <u>シズ</u>	田植前後土壌処理した場合, 一年生非イネ科雑草: 生育期. ホタルイ: 発生盛~花茎抽出始期.	g/a 40~60	全 土 壌	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) 散布は水稲になるべくかからないようにする. 3) 処理後の灌水は, 48~72時間経過後に

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 6-4 セ リ 対 象 (つづき)	1) BAS-3510(酸)水和(つづき)			イ.	ウリカワ, ミズガヤツリ, ヘラオモダカ, セリ: 発生盛〜増殖中期. オモダカ: 発生盛〜矢じり葉初期. コウキヤガラ: +30日前後. クログワイ: 草丈10〜30cm. シズイ: 6〜8L.			行なう. 4) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は, 使用をさしひかえる. 5) クログワイ防除は, クログワイに有効な前処理剤との組み合わせで使用する. また処理期が早いと効果が変動する.
			温暖地東部の早期・普通期.	一年生非イネ科雑草, ホタルイ, ヘラオモダカ, ウリカワ, オモダカ, ミズガヤツリ, クログワイ, コウキヤガラ. 〔但し, クログワイは普通期のみ.〕				
			温暖地西部の普通期.	一年生非イネ科雑草, ホタルイ, ヘラオモダカ, ウリカワ, オモダカ, ミズガヤツリ, クログワイ, コウキヤガラ, セリ.				
			暖地の早期・普通期.	一年生非イネ科雑草, ホタルイ, ヘラオモダカ, ウリカワ, オモダカ, ミズガヤツリ, クログワイ, コウキヤガラ. 〔但し, ヘラオモダカ, オモダカ, クログワイは普通期のみ.〕				
Ⅱ 6-5 コウキヤガラ対象	1) MCP・BAS(Na)液		< Ⅱ-5-25 参照 >					
Ⅱ 6-6 シズイ対象	2) BAS-3510(酸)水和		< Ⅱ-6-4 参照 >					

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 7 薬 害 軽 減	1) <u>BM-3015</u> <u>㊞粒</u>	土壌処理	寒冷地以西の普通期、温暖地東部の早期。 (沖縄県の一期作も含む)。	一年生雑草、マツバイ。	-4~+10 (ノビエ1.5Lまで)。	g/a 300~ 400	砂壌土~ 埴土 〔極端な 漏水田 は除く。〕	
	2) <u>B-3015</u> <u>S㊞粒</u>	茎葉・土壌処理	全域の早期・普通期。	一年生雑草、マツバイ。	+8~ノビエ2.5L(+15日頃)。 〔但し、寒地は +8~ノビエ2L (+15日頃)〕	g/a 300	埴土~ 埴土 〔極端な 漏水田 は除く。〕	1) シメトリン混合剤の使用上の注意厳守のこと。
			全域の早期・普通期。	一年生雑草、マツバイ。	田植前後土壌処理した場合、 +15~+25 (ノビエ2Lまで)。	g/a 300~ 400 〔但し、 寒地は 300〕	砂壌土~ 埴土 〔極端な 漏水田 は除く。〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる。
	3) <u>B-3015</u> <u>SM㊞粒</u>	茎葉・土壌処理	寒冷地・温暖地東部の早期・普通期。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワ、ミズガヤツリ。	+15~ノビエ3Lまで。 〔但し、寒冷地〕 はイネ5L以降、 暖地はイネ6L以降、 ノビエ3.5L まで。	g/a 300~ 400	埴土~ 埴土 (2cm/日以下)。	1) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる。 2) 低温時の使用は、 薬害発生の危険性があるので、 使用はさしひかえる。
			温暖地西部の普通期。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ。	ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ：発生 始~4Lまで。 ウリカワ：発生 盛~5L。			
			暖地の普通期。	一年生雑草、マツバイ、ウリカワ。				
		茎葉・土壌処理	寒地。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワ。	田植前後土壌処理した場合、 寒地：+20~+30(ノビエ2.5L)。	300~ 400 〔但し、 寒地は 300〕	埴土~ 埴土 (2cm/日以下)。 砂壌土 (1cm/日以下)。	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる。
			寒冷地。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワ、オモダカ、ミズガヤツリ、クログワイ。	寒冷地・温暖地東部：+20~+30(ノビエ3L)。 温暖地西部以西：+20~+25(ノビエ3L)。 〔但し、寒冷地〕 以北はイネ5L期以降。			3) 低温時は、薬害発生の危険性があるので、 使用はさける。 4) クログワイ防除は、 クログワイに有効な 前処理剤との組み合わせで使用する。
			温暖地東部の早期・普通期。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ヘラ	ホタルイ、ヘラ			

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 1 7 薬 害 軽 減 (つ づ き)	3) B-3015 SM®粒 (つづき)		通期.	イ, ウリカワ, オモダカ, ミズ ガヤツリ, クロ グワイ.	オモダカ, ウリ カワ, ミズガヤ ツリ: 発生始〜 4 L. 〔但し, 温暖地〕 西部以西のウ リカワは発生 始〜5 L. オモダカ: 発生 始〜2 L. 〔但し, 温暖地〕 西部以西のオ モダカは発生 始〜矢じり葉 初期. クログワイ: 発 生始〜草丈5 cm.			
			温暖地西部 以西の普通 期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, クログワイ, オ モダカ. 〔但し, クログ ワイは温暖地 西部のみ.〕				
	4) MTB- 3015® 粒	土 壌 処 理	寒地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ.	+2〜ノビエ2 L まで. ホタルイ, ウリ カワ, ヘラオモ ダカ, ミズガヤ ツリ: 発生始〜 2 L.	g/a 300 ~ 400	砂壤土〜 埴土 (2cm/日 以下).	
			寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ヘラオモダカ, ミズガヤツリ.				
			温暖地以西 の普通期, 温暖地東部 および暖地 の早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ミズガヤツリ.				
		茎 葉 ・ 土 壌 処 理	寒地, 寒冷 地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ, ウリカワ.	田植前後土壌処 理した場合, +15〜+20 (ノ ビエ2 L まで). 〔但し, 温暖地〕 の普通期は+ 10〜+20, 寒 地はノビエ1.5 L まで. ホタルイ, ヘラ オモダカ, オモ ダカ: 発生始〜 2 L. ウリカワ, ミズ ガヤツリ: 発生 始〜3 L.	300 ~ 400	埴土〜 埴土 (2cm/日 以下).	1) 前処理剤との組み 合せて使用する.
			温暖地東部 の早期・普 通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, オモダカ, ウリカワ, ミズ ガヤツリ.				
			温暖地西部 の早期・普 通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ.				

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
	5) <u>SB-77®</u> 粒	土壌処理	寒地.	一年生雑草, マツバイ, ヘラオモダカ, ウリカワ.	+3~+10 (ノビエ2Lまで). 〔但し, 寒地はノビエ1.5Lまで.〕	g/a 300	砂壤土~ 埴土 (2cm/日以下).	1) 泥炭質土壌では, ウリカワに対する効果が低下することがある.
			寒冷地, 温暖地東部の早期・普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ, ウリカワ, ミズガヤツリ. 〔但し, ヘラオモダカは寒冷地のみ.〕	ホタルイ, ヘラオモダカ, ウリカワ, ミズガヤツリ: 2Lまで 〔但し, 温暖地西部のミズガヤツリは発生始期.〕			
			温暖地西部の普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ, ヒルムシロ.	ヒルムシロ: 発生始期.			
			暖地の普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ.				
		土壌処理	寒地, 寒冷地, 温暖地東部の普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ, ウリカワ, ミズガヤツリ. 〔但し, ミズガヤツリは寒地を除く. ヘラオモダカは温暖地東部を除く.〕	田植前後土壌処理した場合, +10~+20 (ノビエ1.5Lまで). ホタルイ, ヘラオモダカ, ウリカワ, ミズガヤツリ: 2Lまで.	300	砂壤土~ 埴土 (2cm/日以下).	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) 泥炭質土壌では, ウリカワに対する効果が低下することがある.
Ⅲ 1 灌 水 直 播	3) MY-93 粒	土壌処理	温暖地以西.	ノビエ.	+3~+7 (ノビエ1.5Lまで).	g/a 300~ 400	埴土~ 埴土 (1cm/日以下).	1) ノビエ優占圃場で使用する.
	4) <u>SL-49</u> 粒	土壌処理	温暖地以西.	一年生雑草, マツバイ, ウリカワ.	+0~+3	g/a 300	埴土~ 埴土 (2cm/日以下).	
	5) SW-751 粒	土壌処理	寒地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ.	-3~+7 (ノビエ1Lまで). 〔但し, 温暖地西部以西はノビエ1.5Lまで.〕	g/a 300~ 400 〔但し, 400は〕	埴土~ 埴土 (2cm/日以下).	

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅲ-1 (つづき)	5) SW-751 粒 (つづき)		寒冷地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, <u>ウリカワ</u> .	{ で. }	{ 播種前 のみ. }		
			温暖地以西.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, <u>ウリカワ</u> .				
Ⅲ-2 乾田直播	1) MY-93 D 乳	茎葉・土壌処理	温暖地.	一年生雑草, <u>マツバイ</u> .	+10~ノビエ 2.5 Lまで(入水前).	ml/a 75 ~ 100	壤土~ 埴土	1) DCPA 剤の使用上の注意をまもる.
			暖地.	一年生雑草.	+10~ノビエ <u>3.5</u> Lまで(入水前).			
Ⅳ 畦畔	1) Mon-39 液	茎葉塗布処理	全域.	全草種. { 但し, 寒冷地 以北はスギナ を除く. }	雑草生育期.	3~6 倍 液を 1 ~ 2 回往復 塗布.	全 土 壤	
	2) MW-801 液	茎葉処理	全域.	全草種.	雑草生育初期~ 中期: 草丈 10 ~ 30cm.	ml/a 50 ~ 100 { 但し, } 寒地は 100 }	全 土 壤	1) ノリ面散布はさける. 2) 稲体にかからないようにする. 3) 流水による薬害のおそれをなくする.
	6) SL-236 乳	茎葉処理	温暖地以西.	一年生イネ科雑草, キシュウスズメノヒエ.	雑草生育期: 草丈 30 cm 以下.	ml/a 20~40	全 土 壤	1) 稲体にかからないようにする.
Ⅴ 耕起前	1) AH-501 ⑩液	茎葉処理	寒冷地・温暖地東部・暖地.	一年生雑草.	耕起前 20~10 日.	ml/a 20~30	全 土 壤	1) パラコート剤に準ずる. 2) 周辺の作物に飛散しないように注意する.
	2) 3) MW-801 液	茎葉処理	寒冷地以西.	一年生雑草, キシュウスズメノヒエ. { 但し, キシュウスズメノヒエは暖地のみ. }	一年生雑草: 耕起前 30~15 日. キシュウスズメノヒエ: 耕起前 30~25 日.	ml/a 一年生雑草: 50 ~ 100. キシュウスズメノヒエ: 100.	砂壤土~ 埴土	1) 周辺の作物に飛散しないように注意する.
Ⅵ 休耕田	1) AH-501 ⑩液	茎葉処理	全域.	一年生雑草.	雑草生育期: 草丈 30 cm 以下.	ml/a 20~30	全 土 壤	1) パラコート剤に準ずる. 2) 周辺の作物に飛散しないように注意する.

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅵ 休耕田 (つづき)	2) Mon-39 液	茎葉 処理	寒冷地以西.	一年生雑草, イ ネ科多年生雑草	雑草生育初期.	ml/a 一年生雑 草: 25~ 50. 多年生: 75~ 100.	全土壌	1) 稀釈水量はできる だけ少なく, 茎葉に 付着するように散布 する. 2) 周辺の作物に飛散 しないように注意す る.
Ⅶ ク リ ー ク 雑 草 (つづ き)	1) Mon-39 液	茎葉 処理 (夏 期防 除)	全域.	キシウスズメ ノヒエ, ホテイ アオイ, ヨシ, マコモ, セイタ カアワダチソウ. 〔但し, 温暖地 以北はキシ ウスズメノヒ エ, ホテイア オイ, セイタ カアワダチソ ウを除く.〕	発生盛期(5月). 生育盛期(7~ 8月).	ml/a 50~ 100		1) 周辺の作物に飛散 しないように注意す る. 2) <u>キシウスズメノ ヒエは, その垂種も 含む.</u>
		茎葉 処理 (秋 期防 除)	全域.	キシウスズメ ノヒエ, ホテイ アオイ, ヨシ. 〔但し, 温暖地 以北はキシ ウスズメノヒ エ, ホテイア オイを除く.〕	生育後期(10月).	50~ 100		1) 周辺の作物に飛散 しないように注意す る. 2) <u>キシウスズメノ ヒエは, その垂種も 含む.</u>

注: 1) アンダーライン(実線)は, 本年度拡大された部分(なお薬剤名のアンダーラインは本年度はじめて使用基準の作成されたもの).

2) アンダーライン(点線)はその一部が拡大されたもの.

第4表 昭和56年度 体系是正用実用化除草剤使用基準一覧表

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
体 系 是 正	1) CG・SW 粒 CG-113 2% ピラゾレート 8%	土 壌 処 理	全域の普通 期・温暖地 東部の早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ, ウリカワ, ミズガヤツリ, ヒルムシロ. 〔但し, ヒルム シロは暖地の み.〕	-3, +1~ノビエ 2Lまで. 〔但し, 寒地は -3, +3~+ 10, ノビエ1.5 Lまで. ホタルイ, ミズ ガヤツリ: 2L まで. ウリカワ, ヘラ オモダカ: 3L まで.	g/a 300~ 400	砂壌土~ 埴土 (2cm/日 以下).	1) 泥炭質土壌では, ウリカワに対する効 果が低下することが ある. 2) 砂壌土で, 著しい 高温条件の時は, ク ロロシスの発生が著 しいので注意する.

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用地域	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
体系 正 (つづき)	1) CG・SW 粒 (つづき)				ヒルムシロ：発 生期まで。			
			暖地の <u>早期</u> 。	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ウリカワ。	+1～+7 (ノ ビエ1 Lまで)。	g/a 300		
	2) MT・CG 粒 〔ナプロアニ リド 10% CG-113 2%〕	土 壌 処 理	全域の普通 期。	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヘラオモダ カ，ウリカワ， ミズガヤツリ。 〔但し，ミズガ ヤツリは温暖 地以西のみ。〕	+3～+10 (ノ ビエ1.5 Lまで)。 〔但し，温暖地 西部以西はノ ビエ2 Lまで〕 ホタルイ，ヘラ オモダカ，ウリ カワ：2 Lまで。 ミズガヤツリ： 発生始まで。	g/a 300～ 400	壤土～ 埴土 (2cm/日 以下)。	
	3) MS-358 粒 〔ブタクロー ル 3.5% ピラゾレー ト 8%〕	土 壌 処 理	全域の普通 期，温暖地 東部の <u>早期</u> 。	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヘラオモダ カ，ウリカワ， ミズガヤツリ， ヒルムシロ。 〔但し，ヒルム シロは寒地と 暖地のみ。〕	+1～+10 (ノ ビエ1.5 Lまで)。 〔但し，温暖地 東部は+3～ +13，温暖地 以西はノビエ 2 Lまで。〕 ホタルイ，ヘラ オモダカ，ミズ ガヤツリ：2 L まで。 ウリカワ：3 L まで。 ヒルムシロ：発 生期まで。	g/a 300	砂壤土～ 埴土 (2cm/日 以下)。	1) ブタクロール粒剤 に準ずる。 2) 泥炭質土壌では， ウリカワに対する効 果が低下することが ある。 3) 砂壤土で，著しい 高温条件の時は，ク ロロシスの発生が著 しいので注意する。
	4) SB-77 粒 〔ピラゾレー ト 7% ベンチオカ ーブ 7%〕	土 壌 処 理	寒地。	一年生雑草，マ ツバイ，ヘラオ モダカ，ウリカ ワ。	+3～+10 (ノ ビエ2 Lまで)。 〔但し，寒地は〕 ノビエ1.5 L まで。 ホタルイ，ヘラ オモダカ，ウリ カワ，ミズガヤ ツリ：2 Lまで。 ヒルムシロ：発 生期まで。	g/a 300	砂壤土～ 埴土 (2cm/日 以下)。	1) 泥炭質土壌では， ウリカワに対する効 果が低下することが ある。 2) 砂壤土で，著しい 高温条件の時は，ク ロロシスの発生が著 しいので注意する。
			寒冷地，温 暖地東部の <u>早期</u> ・普通 期。	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヘラオモダ カ，ウリカワ， ミズガヤツリ。 〔但し，ヘラオ モダカは寒冷 地のみ。〕				

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
体系是正 (つづき)	4) SB-77 粒 (つづき)		温暖地西部 の普通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ミズガヤツリ, ヒルムシロ.				
			暖地の普通 期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ.				
	5) TH-63 粒 〔ジメタメト リン 1.1% ピペロホス 4.4% ベンタゾン 10%〕	茎葉・土 壌処理	全域の早期 ・普通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ, ウリカワ, ミズガヤツリ. 〔但し, ヘラオ モダカは寒地 ・寒冷地のみ. ミズガヤツリ は寒地を除く.〕	寒地: +7~ノ ビエ2Lまで. 寒冷地: +8~ ノビエ2.5L まで. 温暖地以西: + 8~ノビエ3 Lまで. ホタルイ: 発生 始~5L. ヘラオモダカ: 発生盛~4L. ウリカワ: 発生 盛~5L. ミズガヤツリ: 発生盛~6L.	g/a 300	壌土~ 埴土 (2cm/日 以下).	1) シメトリン混合剤 の使用上の注意をま もる. 2) <u>多年生雑草を対象 とする場合には, 浅 水処理が望ましい.</u>
	6) SL-493 粒 〔SL-49 8% ブタクロ ール 3%〕	土 壌処理	寒地・寒冷 地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ, ウリカワ.	+1~+10 (ノビ エ1.5Lまで). ホタルイ, ヘラ オモダカ: 2L まで. ウリカワ: 3L まで.	g/a 300~ 400 〔但し, 砂壌土 は300 のみ.〕	砂壌土~ 埴土 (2cm/日 以下). 〔但し, 寒地と 温暖地 東部は 埴土~ 埴土 (2cm /日以 下).〕	
			温暖地以西 の普通期・ 温暖地東部 の早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ミズガヤツリ. 〔但し, ミズガ ヤツリは暖地 を除く.〕	+1~+10 (ノビ エ2Lまで). 〔但し, 温暖地 東部は+3~ +10. ホタルイ, ミズ ガヤツリ: 2L まで. ウリカワ: 3L まで.			
	7) SL-494 粒 〔SL-49 8% ピペロホス 4%〕	茎葉・土 壌処理	全域の普通 期・温暖地 東部の早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ, ウリカワ, ミズガヤツリ.	+7~+12 (ノビ エ1.5Lまで). 〔但し, 温暖地 以西はノビエ 2.5Lまで.〕	g/a 300~ 400 〔但し, 砂壌土 は300 のみ.〕	砂壌土~ 埴土 (2cm/日 以下). 〔但し, 〕	

区分	薬 剤 名	処理法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使用上の注意
体系是正(つづき)	7) SL-494 粒 (つづき)			(但し、ヘラオモダカは寒地・寒冷地のみ、ミズガヤツリは寒冷地・温暖地西部のみ。)	ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ：2 L まで。 ウリカワ：4 L まで。	は 300 のみ。	寒地と温暖地東部は壤土～埴土(2 cm/日以下)。	

第 5 表 昭和 56 年度 少量散布実用化除草剤使用基準一覧表

区分	薬 剤 名	処理法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使用上の注意
少量散布	1) (G-315 乳)→ <u>モリネートSM粒</u>	茎葉・土壌処理	寒地・寒冷地。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ。		g/a 200 ～ 400		1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) 許容できる限り早目の処理で減量可能。
	2) (ブタクロール粒)→ <u>モリネートSM粒</u>	茎葉・土壌処理	寒地・寒冷地。	一年生雑草、マツバイ。		g/a 200 ～ 400		1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) 許容できる限り早目の処理で減量可能。
	3) (ブタクロール粒)→ <u>B-3015 SM粒</u>	茎葉・土壌処理	暖地を除く全域の普通期。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ。		g/a 200 ～ 400		1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) 許容できる限り早目の処理で減量可能。
	4) (ブタクロール粒)→ <u>HOK-05 粒</u>	茎葉・土壌処理	寒地・寒冷地。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ。		g/a 200 ～ 400		1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) 許容できる限り早目の処理で減量可能。
	5) (ブタクロール粒)→ <u>TH-63 粒</u>	茎葉・土壌処理	寒地・寒冷地。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ。		g/a 200 ～ 400		1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) 浅水処理する。 3) 許容できる限り早目の処理で減量可能。
	6) (MTS-1 粒)→ <u>B-3015 SM 粒</u>	茎葉・土壌処理	寒冷地・温暖地東部。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ。		g/a 200 ～ 400		1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) 許容できる限り早目の処理で減量可能。
	7) (MC-79 粒)→ <u>モリネートSM粒</u>	茎葉・	温暖地東部	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ。		g/a 200 ～ 400		1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) 許容できる限り早

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
少量散布 (つづき)	7) (MC-79粒)→モリネートSM粒(つづき)	土壌処理	温暖地西部以西.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ.				目の処理で減量可能.
	8) (MC-79粒)→HOK-05粒	茎葉・土壌処理	温暖地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ.		g/a 200 ~ 400		1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) 許容できる限り早目の処理で減量可能.
			暖地.	一年生雑草, マツバイ, ウリカワ.				
	9) (X-52粒)→モリネートSM粒	茎葉・土壌処理	温暖地以西.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ. 〔但し, ホタルイは暖地を除く.〕		g/a 200 ~ 400		1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) 許容できる限り早目の処理で減量可能.
	10) (X-52粒)→HOK-05粒	茎葉・土壌処理	温暖地以西.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ. 〔但し, ホタルイは暖地を除く.〕				
	11) (X-52粒)→TH-63粒	茎葉・土壌処理	温暖地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ.		g/a 200 ~ 400		1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) 浅水処理する. 3) 許容できる限り早目の処理で減量可能.

第6表 昭和56年度 ハトムギ関係実用化除草剤使用基準一覧

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
(1) 移植栽培	1) X-52粒	土壌処理	寒冷地以西.	一年生雑草, マツバイ.	+3 ~ +7 (ノビエ1Lまで).	g/a 300 ~ 400	砂壌土 ~ 埴土 〔極端な漏水田は除く.〕	1) <u>処理前後は浅水で管理する.</u>
	2) CNP粒	土壌処理	寒冷地・温暖地.	一年生雑草, マツバイ.	-3 ~ +3 (ノビエ1Lまで).			

区分	薬 剤 名	処理法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
(1) 移 植 栽 培 (つづき)	3) SW-751 粒	土 壌 処 理	温暖地以西.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ.	+2~+5 (ノビエ 1L まで). ホタルイ: 発生 始まで. ウリカワ: 2L まで.	g/a 300	砂壤土~ 埴土 (2cm/日 以下).	1) 処理前後は浅水で 管理する.
	4) MC-79 粒	土 壌 処 理	寒冷地・温暖地.	一年生雑草, マツバイ.	+3~+7 (ノビエ 1L まで).	g/a 300 ~ 400	砂壤土~ 埴土 (2cm/日 以下).	1) 処理前後は浅水で 管理する.
(2) 乾 田 直 播 栽 培	1) アトラジン 水和	土 壌 処 理	温暖地西部 以西.	一年生雑草.	播種直後~雑草 発生前.	g/a 10~20	埴土~ 埴土	1) イネ科雑草多発田 はさける.
	2) トリフルラリン 乳	土 壌 処 理	温暖地西部 以西.	一年生雑草. (但し, カヤツリグサ科は除く.)	生育期 (播種後 30~40日), 雑草 発生前.	m/a 20~30	埴土~ 埴土	1) 他の除草法 (前処理) との組み合わせで使用する.

編 集 後 記

一雨ごとに春の息吹が感じられるようになり、冬雑草の生育も盛んになってきた。樹木の蕾もふくらみ、人の眼にうつる植物の姿に、ようやく活気が満ちてきた。

人間の世界をふりかえてみると、春とはいえども何となく活気は見られない。最近の食生活の変化から、肉食に偏る傾向が強まり、食肉生産のために莫大な飼料が必要となっているが、その生産の基盤となる土地が地球上では制約を受け、世界人口を養う食糧生産の見通しに悲観的な声も聞かれるようになってきた。工業国へと国の方針を転換しつつある日本にとっては、食糧を外国に依存しなければならない現在、将来、この食糧が確保できえなくなった事態を想定し、そのための対策を今より考えておかなければならない。雑草をあくまで作物の敵とする考え方は古すぎる。今後不足するであろう家畜の飼料に、あるいは人間の食物として、

活用する方法を考えなければならないのではないだろうか。雑草を人間生活の中にとり入れ、これらの雑草の品種改良を進め、栄養価の高い食糧が得られるかも知れない。

これからの雑草研究は、単なる作物栽培の上で考えるよりも、資源としての活用方法について、もっとつとこんだ研究に向かわなければならないのではないだろうか。

財団法人 日本植物調節剤研究協会

東京都台東区台東1丁目26番6号

電話 東京(03) 832-4188 (代)

昭和57年3月発行

植調第15巻第12号

¥250 (送料170)

編集人 日本植物調節剤研究協会専務理事 吉沢 長人
発行人 植調編集印刷事務所 広田 伸七

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会内
発行所 植調編集印刷事務所
電話 東京(03) 833-1821 番(代)